

## ソーシャル・イノベーション (SI) コース及びその関連事業の VI 作成用 QA

1. 誰をターゲットオーディエンスにしていますか？
  - a. ソーシャル・イノベーションに興味のある本学及び世界中の大学生
  - b. こうした教育に賛同し共に、このコースによるソーシャル・イノベータを育成したい、もしくは、共にソーシャル・イノベーションを実行していきたい組織や NPO、コミュニティー
2. このプログラムの意義やミッション
  - a. 社会を創造的に変化させ持続可能な社会と世界平和を実現する
  - b. この目的を実現させる人材（＝下記の 3 つの力を持つ人材）を育成する

**発見するチカラ**

海外の学生と共に、社会問題とその歴史や文化、背景を考察する経験から、問題の本質を発見する力を養います。

**創造するチカラ**

解決するためのコンテキストを創造し、それを実現する新しい商品やサービス、制度を生み出す力を養います。

**実現するチカラ**

行政、NPO、企業、地域住民など様々な立場の人の垣根を越えた協働を実現し問題を解決する力を養います。

- **本事業の目的**

- 本事業の目的はソーシャル・イノベーション (Social Innovation)を実現することです。SI コースでは、この目的のために、ソーシャルイノベータを育成します。ソーシャル・イノベーションとは、新しい商品やサービス、制度によって社会問題を解決することです。他国の学生とのコラボレーションを通して課題を”発見するチカラ”や解決策を”創造するチカラ”を養い、その解決策を”実現するチカラ”を持つ人材を育成します。将来、行政や NPO、企業などで実際にソーシャル・イノベーションを担う人はもちろん、主体的に問題発見・解決に取り組む人を育成します。具体的に「3つのチカラ」とは以下のようなことです。

- **発見するチカラ**

- 社会問題に向かうとき□それを取り巻くコンテキスト(環境・社会的背景・法律や慣習など社会の枠組みなど)とセットで考える必要があります。鏡がないと顔を見ることができないように□その問題が生じているコンテキストは別の角度や他者の視点から見なければ発見できません。他国の学生と共に考えることでコンテキストを明らかにし、その問題の本質や新しい解決の方向を発見する力を養います。

- **創造するチカラ**

この文書は、下記をベースに作成しています。

LOGO Design Brief Questions for SIGLOC (Socially Innovative Global Classroom)

Thomas Wallestad, Associate Professor of Art, University of Saint Mary,

Thomas.Wallestad@stmary.edu

- 今ある問題を解決するためには創造性が必要です。なぜなら創造性がなくても解決できるような問題は既に解決されているからです。問題を俯瞰し□ 解決するためのコンテキストを創造し□ そのコンテキストが成り立つような新しい商品やサービス□ 制度を生み出す力を養います。

## ● 実現するチカラ

- 問題を解決するためには□ 作り出した商品、サービスや制度がすべての人に受け入れられなければなりません□ それを実現するためには行政□ NPO□ 企業、地域住民など様々な立場の人が□ それぞれの立場の垣根を越え、協働することが必要です□ どの立場からでも問題解決を実現できる力を養います。

## 3. ソーシャルイノベーション教育の短期的ゴールと長期的ゴールは何ですか？

- 短期的ゴール: ソーシャル・イノベーションを生じさせるような教育の実践
- 長期的ゴール: **教育とソーシャル・イノベーション実践が両輪**となって進行する状況を作る
  - SI コースから、スピノフが生じる＝実際のソーシャル・イノベーションが実施される＝**スピノフ・プロジェクト**と呼ぶ。
  - スピノフ・プロジェクトの担い手は SI コース履修生
  - コレクティブインパクトの意味で、**誰もがそのプロジェクトのリーダー**である。
    - コレクティブインパクト: 組織／社会セクターの垣根を超えた協働により社会課題を解決すること
  - SI コースで下記のプロセスが進行する。
    - スピノフ・プロジェクトに関わることで学ぶ＝スピノフ・プロジェクトが SI コースの **Field Research** 先として機能する。
    - スピノフ・プロジェクトの実践者が講師になる
    - スピノフ・プロジェクトの新しい担い手をリクルートする場でもある。

## 4. 貴校と協働する組織・団体や競合する相手はどんな組織ですか？また、そのような団体のロゴ(CI) はどのようなものですか？

- 各大学の留学プログラム・短期研修プログラム
  - UMAP <https://usco2.umap.org/>
  - J-MCP [Home | J-MCP](#)
  - JV-Campus [トップページ » JV-Campus](#)
- 協働先
  - 関西大学・IIGE [IIGE\(Institute for Innovative Global Education\) - 関西大学 国際部 -](#)
  - 阪南市 [ホーム／阪南市](#)
  - 阪南社会福祉協議会 [阪南市社会福祉協議会](#)
  - 富田林高校 <https://tonko.ed.jp/>
  - 海外連携校 (5つ)
    - Andrews <https://www.andrews.edu/index.html>
    - Lehman [HOME - Mukuba University](#)
    - Uttaranchal [Best Engineering, Management & Law University in Dehradun, Uttarakhand, India - Uttaranchal University](#)
    - Mukuba [HOME - Mukuba University](#)
    - Kwame Nkrumah [Kwame Nkrumah University](#)
- 各 Moocs とロゴ

- [Coursera | 最高峰の教育機関のオンラインコースと資格認定。参加は無料](#)
    - [https://www.google.com/search?q=Coursera&newwindow=1&rlz=1C1QABZ\\_jaJP909JP909&sxsrf=ALeKk00GPIYFiB5VpfYH14ZKy1UP1HPHEQ:1613695726570&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ved=2ahUKEwi\\_07qE3fTuAhXMxYsBHTexDLEQ\\_AUoA3oECBAQBQ&biw=1107&bih=1073](https://www.google.com/search?q=Coursera&newwindow=1&rlz=1C1QABZ_jaJP909JP909&sxsrf=ALeKk00GPIYFiB5VpfYH14ZKy1UP1HPHEQ:1613695726570&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ved=2ahUKEwi_07qE3fTuAhXMxYsBHTexDLEQ_AUoA3oECBAQBQ&biw=1107&bih=1073)
  - [Build new skills. Advance your career. | edX](#)
    - [https://www.google.com/search?q=edx&newwindow=1&rlz=1C1QABZ\\_jaJP909JP909&sxsrf=ALeKk00AihagcpEYq8yMCnGSBmvLd08oXQ:1613695773802&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ved=2ahUKEwidvf2a3fTuAhUDCqYKHahACU4Q\\_AUoAnoECBEQBA&biw=1107&bih=1073](https://www.google.com/search?q=edx&newwindow=1&rlz=1C1QABZ_jaJP909JP909&sxsrf=ALeKk00AihagcpEYq8yMCnGSBmvLd08oXQ:1613695773802&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ved=2ahUKEwidvf2a3fTuAhUDCqYKHahACU4Q_AUoAnoECBEQBA&biw=1107&bih=1073)
  - [Learn the Latest Tech Skills; Advance Your Career | Udacity](#)
    - [https://www.google.com/search?q=Udacity&newwindow=1&rlz=1C1QABZ\\_jaJP909JP909&sxsrf=ALeKk03dMkE5Tfz5D\\_XQfxA3t\\_C0KGA5VQ:1613695811334&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ved=2ahUKEwjgo\\_Cs3fTuAhUawosBHcNCBrkQ\\_AUoAnoECA4QBA&biw=1107&bih=1073](https://www.google.com/search?q=Udacity&newwindow=1&rlz=1C1QABZ_jaJP909JP909&sxsrf=ALeKk03dMkE5Tfz5D_XQfxA3t_C0KGA5VQ:1613695811334&source=lnms&tbm=isch&sa=X&ved=2ahUKEwjgo_Cs3fTuAhUawosBHcNCBrkQ_AUoAnoECA4QBA&biw=1107&bih=1073)
5. 一般的に（あるいはオンライン教育の中で）使われているもので、好ましいと考えるロゴなどがありますか？あなたが考える「成功しているロゴ」の定義とは？
- a. SI コースと聞いただけで、どのようなプログラムなのかイメージが湧くこと。
    - i. Social Innovation によって世界を良くする活動であること
    - ii. 教育プログラム・人材育成プログラムであること
    - iii. イノベティブ（先進・先駆的）なプログラムであること
    - iv. 新しいカテゴリー（徹底した現場主義・アクティブラーニング）のプログラム
  - b. 例：Starbucks のようなもの
    - i. 特別な世界感と居心地を提供するカフェ
    - ii. 特別な内容の教育を提供するコース
  - c. 例：ゼロックス・クリネックスではない
    - i. 飲み物の 1 カテゴリーではあるが比類なき飲み物
    - ii. 教育コースの一つではあるが、比類なきもの
      1. 今後、増える可能性はある。
      2. フロッピーディスクのアイコンのように残る
  - d. 例：今治タオルのようなもの
    - i. 信頼感・安全さをほぼ無条件に感じる（うさん臭くない）
    - ii. ホンモノ感・プロフェッショナル感が伝わる
  - e. 質問：ロゴ自体は存在を主張してよいのかどうか？
    - i. インパクトは必要ない（例：×ミヤクミヤク、×フジテレビ）
    - ii. スタバのようなロゴ
    - iii. OMU の SI コース、と聞いたらロゴが思い浮かぶような
6. ロゴにはふさわしくないとされる要素・特徴はありますか？その理由は？
- a. 見づらい・読みにくい
    - i. ごちゃごちゃしている
    - ii. 要素がありすぎる
    - iii. 文字が多い
  - b. 特定の文化・宗教・国をイメージさせる

7. ロゴは視認性が高く、読みやすく、組織や製品に関する重要な特徴を伝えるものでなければなりません。SI コースについて、どのような印象や感覚を人々に与えたいですか、またはどのようなイメージを世間に提示したいですか？SI コースを象徴する重要な形容詞、属性、または説明的な言葉を 5 つ挙げるとしたら何ですか？(例：大胆、プロフェッショナル、親しみやすい、包括的、多様性、先進性など)
- わくわく **Exciting** / adventurous/ creative
  - 邂逅 **chance/ interactive/collaborative/ encounter**
  - 究理 **exploring**
    - idealistic/investigative/
    - realistic/experiential/
  - 気づき・発見 **Eye-opening**
    - 他者との協働により自身が立脚している context に気がつく
      - Be aware of the context on which you are based by collaborating with others
    - 鏡によって自分の顔を見る
      - Look at your own reflection in the mirror
  - 挑戦的
    - challenging
8. SI コースだけでなく、SIGLOC や VLT などとの統一性を持たせるために、ブランドのように適用できる新しい SI コースロゴデザインが望ましいでしょうか？それとも、SI コース単独のロゴの方が良いでしょうか？
- a. 上記は、全て SI コースという意味で共通です。
  - b. SI コースの統合ロゴ作成をお願いします。
9. 良いロゴとは、（非常に大きいものから非常に小さいものまで）拡張性があり、モノクロでもカラーでも表現できるものでなければなりません。この新しいロゴの結果、どのような素材が欲しいですか？どこでどのように使用しますか？
- a. WEB サイト
  - b. 各種 SNS
  - c. PR 動画
  - d. パンフレット
  - e. レターヘッド・名刺
  - f. 修了証・デジタルバッジ
  - g. バーチャル背景
  - h. 集客時の案内（幟・旗、腕章など）
10. 望ましい色や色の組み合わせはありますか？SI コース、OMU、または文化的な意味を持つ色ですか？
- a. 特になし。ただし、大阪公立大学のプロジェクト（事業・一部門）であることが明確になること
  - b. 例：De La Salle 大学の使い方 オリジナルと学部の関係(参考1)
    - i. 星・色・フレームなどで統一感を想起させる
  - c. もし大阪公立大学のシンボルマークをモチーフとして使用する場合は、使用基準に則ってデザインすること。（参考2）使用方法によっては、デザイン提案後に修正を求める場合がある
11. SI コースに適用した場合、ブランドイメージに適していると思われる書体はありますか？(例：Helvetica と Times New Roman)
- a. 特になし。ただし、大阪公立大学のプロジェクト（事業・一部門）であることが明確になること

12. OMU は、ブランドの一部として特定の色や書体を使用していますか？SI コースは OMU のブランドやロゴと何らかの形でつながる必要があるのでしょうか、それとも独立して扱うことができるのでしょうか？
- a. 大阪公立大学のプロジェクト（事業・一部門）であることが明確になること
13. SI コースを象徴するシンボルやアイコンはありますか？SI コースを最もよく表しているイメージは何ですか？
- a. OMU を象徴するシンボルやアイコンは意識する。（デラサールの大学と学部のように）
  - b. COIL 事業部門の最初の独自シンボルとしては「地球ぐるぐる＝現行のロゴ」があるが、これは廃止する
14. OMU または SI コースは、このロゴを開発する際にデザイナーが参考にできるような販促物、フォント/書体、視覚的資産（写真やイラスト）をお持ちですか？Does OCU or SIGLOC have any
- a. COIL 事業部門の広報資料を共有
    - i. [OMU-COIL](#)
  - b. 但し、現状の COIL のイメージカラーやロゴは気にしないでよい

(参考 1)

<https://images.app.goo.gl/g2pggiqncCNJsQdKA>  
<https://images.app.goo.gl/2gHM1kPM88dYsLT17>

(参考 2)

<https://www.omu.ac.jp/about/pr/visual-identity/>